

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 市川 学

審査委員 長谷川 浩志

審査委員 小山 友介

審査委員 村上 嘉代子

審査委員 後藤 裕介

*審査委員 尾島 俊之（浜松医科大学）

氏 名	藤田 楓
論文題目	知的共創に基づく地域包括ケアシステムの政策形成に関する研究
〔論文審査の要旨〕	
<p>最終審査会は、2025年5月13日に実施した予備審査における合格を受けて、同年8月6日に芝浦工業大学大宮キャンパス5251教室とオンラインを併用した公聴会として、審査委員6名（学内委員5名、学外委員1名）、傍聴者約30名の参加のもとで行った。申請者からの約60分の博士論文に関する発表に続いて質疑応答を行い、その後、審査委員により審査を実施した。</p> <p>本論文は、日本の少子高齢化・人口減少という社会課題に対し、地域包括ケアシステム（CICS）の構築と政策形成を知的共創の観点から支援する理論的・実践的枠組みを提示する。研究方法として、「住まい・医療・介護・生活支援・予防」の5領域にわたる73項目の包括的指標を定義し、地域の状況を可視化し比較可能にした。また、介護提供体制の持続可能性と効率性を分析するため、エージェントベースシミュレーション（ABSS）を開発・実装した。さらに、政策形成支援手法としてゲーミングシミュレーションを提案した。これら指標化・シミュレーション・ゲーミングの連携を通じ、地域特性に応じた計画の立案や合意形成、持続可能な制度運用が可能になることを論じている。本研究における意義は、単なる理論的枠組みの提示にとどまらず、政策形成過程の「可視化」「参加」「実行」それぞれの段階において、実務担当者の判断を支える具体的な方法論を提供している点にある。本研究を通じて、政策科学、シミュレーション工学、社会福祉、都市計画といった分野を架橋する研究手法を提示し、現場と制度をつなぐ知的基盤としての役割も担っている。</p> <p>研究業績としては、原著論文国際誌1編（査読付）、原著論文国内誌1編（査読付）、国際学会プロシーディングス4編があり、さらに投稿中の国際誌1編がある。学位審査基準として満たしていることから、全会一致で最終審査合格と判定された。</p>	